

平成 27 年度上川地区山岳パトロール合同ミーティング実施結果

実施日：平成 27 年 10 月 16 日 14:00～16:00

場所：上川森林事務所 詰所

参加団体：上川自然保護官事務所（自然保護官、AR）、上川中部森林管理署、上川・大函森林事務所（森林官、GSS）、北海道上川総合振興局（山岳主査、自然保護監視員）、上川町（産業経済課）、上川地区登山道等維持管理連絡協議会（自然保護巡視員、白雲岳避難小屋管理人）、ヒグマ情報センター、北海道山岳整備

討議項目： 1. 登山道の管理方法に関する意見交換
2. 平成 28 年度合同作業実施箇所に関する意見交換

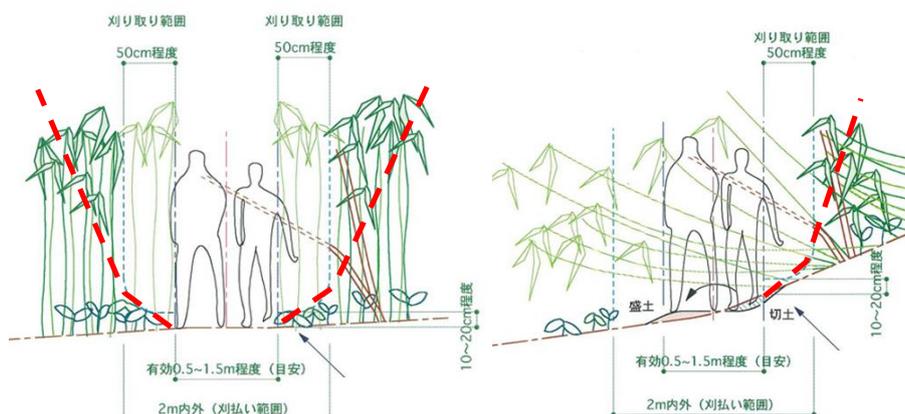
討議結果：

1. 登山道の管理方法に関する意見交換

①刈払い

刈り方・頻度について次の意見が出された。

- ・ハイマツの区間、ササの区間で伸びる速度が異なる
- ・機械刈りは刈り幅 0.5m や 1.0m では作業効率が悪い、標準は機械の振り幅 1.5m
- ・丈の高いササ等は雨露等で道に垂れてくるため上空に向かって開いて刈るのが良い
- ・機械刈は 3～5 年に 1 度の頻度で実施できるようにし、中間は手刈りで対応する
- ・ハイマツ等は枝先のみを刈ると目の位置に切り口がでたり、葉がない枝のみ残るため、なるべく生え際近くから切る
- ・生え際近くから切るとこれまで日が当たらなかった箇所も空き、新たに林床が生える余地が広がるが、一方で既存の歩道幅の外を歩かれることもあるため、植生への踏み込みが想定される場合には一時的にロープ柵で路外を歩かれないよう管理する



②ロープ柵・マーキング

1) 残雪期の管理（コース毎の道迷い対策）

登山道別に管理方法を確認した。これまでベンガラにて明示を行っていたルートのうち緑岳の第 1,2 花畑については（夏道上に明示することが難しいことがあるため）、次年度から別方法の採用を検討することとした。

- ・お鉢回り（北鎮雪溪、北海沢）ベンガラ播き
- ・銀泉台-赤岳（第 1,2 花園、第 3,4 雪溪）雪割り、場合によりロープで誘導
- ・緑岳（第 1,2 花畑）ベンガラ播き（2015）→ロープを匍わせ対応（2016）
- ・高原温泉（沼巡り）ササを雪上に立てて明示
- ・白雲岳避難小屋周辺（板垣新道）ロープ匍わせによる対応

2) 岩稜帯のマーキング（ペンキ）

ペンキによるマーキングについて、利用上・管理上の必要性・効果と景観への配慮について意見交換を行い次の意見がでされた。

- ・ペンキの色は黄色（立入禁止の×は赤色にする意見も有）
- ・浮き石に付けると動くことに留意する
- ・道迷いしやすい岩稜帯に 10m 毎くらいでペイントする
- ・過度なマーキングはやめる（赤岳山頂周辺、白雲分岐等）



3) ビニコンポールの取扱

- ・黒岳石室周辺等に設置されているビニコンポール（白）は道迷い防止、踏み込み防止に寄与しているためそのまま残置する。ただし、歩道侵食等で傾いてきたものについては適宜撤去する。

4) ロープ柵

- ・路外逸脱を防ぐことを目的に設置するロープ柵は、ロープが太いと目立ち過ぎること、そのロープに体重を預け歩行の補助に使う者がいることなどから、上川地区では今後、細いロープに統一して変える。色は緑色とする。
- ・今年度は意識してロープを展開する区間を狭めたが、少なくとも黒岳～黒岳石室間は踏み込みや花やチョウを取ろうとする者がいるため設置する必要がある。
- ・景観を損ねられないが、ロープに多言語で立入禁止等の注意書きを下げるのもよい



2. 平成 28 年度合同作業実施箇所に関する意見交換

①優先順位の高い作業対象候補地

大雪山グレードのランクの低い箇所では優先的に作業を実施する候補地

- ・ 銀泉台～第一花園（旧道道を拓き、高低差の少ないルートを整備できるか検討）
- ・ 高原温泉～緑沼（平成 27 年度に引き続き、木道資材を運搬）
- ・ 愛山溪温泉～沼ノ平（イズミノ沢で落橋した橋の修復）

②平成 27 年度施工箇所のフォローアップ

- ・ 雲の平の施工箇所では木板土留めの下に水が走り十分に機能していない箇所があるため、間詰めをする必要がある
- ・ クジャク岩の施工箇所は、整備後の確認が十分にできていないため雪どけ後の状況を見て補修箇所があれば補修する

→平成 27 年度と同様に資材運搬の協力を登山者に求める

③その他作業対象候補地

- ・ 白雲岳直下のガリー侵食箇所の補修
→黒岳石室と異なり、白雲岳方面は資材の運搬に課題がある
- ・ 赤石川の徒渉ポイントのロープ編みに入った石が崩れてきている
→黒岳石室バイオトイレの荷上げ・荷下げで不要になったモッコに石を積めて補修する案が示された

